

休館日・開館時間などを変更します

高齢化の進展による社会保障費の増大などにより、本市の財政状況は今後大変厳しくなっていくことが予想されます。このような状況のもと、美術館の運営については、かぎられた財源の中で、これまでの美術品鑑賞の場から、市民参画型の美術館への転換を図り、地域に根づき、市民の皆さんに身づくりに感じられるような運営をめざしてまいります。

それに伴い、4月1日(金)より、休館日・開館時間などが変更になります。

	変更前	変更後
休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12月28日～1月1日	月曜日・火曜日（祝日の場合は翌平日） 12月27日～1月3日 ※特別展開催時は火曜日も開館
開館時間	午前9時～午後5時 （施設利用は午後9時まで）	午前10時～午後5時 （施設利用は午後9時まで）
陶芸創作体験 絵付体験開催日	休館日以外の毎日	開館日の金曜日・土曜日・日曜日 ※12月・1月は全日休業 ※5月3日～5日は開催

かわら美術館 企画展

「関野準一郎 東海道五十三次」開催

関野準一郎（1914–1988）は、日本版画協会、国画会などで活躍した日本の現代木版画家の第一人者で、海外の大学で木版画の指導にあたるなど、国際的にも活躍した作家です。

関野の作品は家族や著名人の肖像、数々の版画本など多彩ですが、最も力を注いできたのは各地の街道をはじめとした風景画でした。なかでも、青森生まれの関野を魅了したのは、雪国ではあまりみられない瓦屋根の風景であったといえます。

本展では、当館がこれまで収集してきた、1975年に芸術選奨文部大臣賞を受賞した関野の代表作である「東海道五十三次」のシリーズ全55点をはじめ、世界各地の^{いしか}麓を題材にした「麓12題」などを展示します。風景に魅せられた版画家、関野準一郎の世界をお楽しみください。



▲東海道五十三次「関」 1969年



▲東海道五十三次「保土ヶ谷」 1972年

開催期間 4月2日(土)～5月15日(日)

観覧時間 午前10時～午後5時（観覧券の販売は午後4時30分まで）

観覧料 高校生以上200円（160円）、中学生以下無料

※（ ）内は、高浜市内在住の方、または20人以上の団体料金

休館日 月曜日、火曜日、5月6日(金)（ただし、5月3日(火・祝)は開館）

関連行事

ギャラリートーク

とき 4月23日(土)、5月15日(日) 午後2時～

ところ かわら美術館展示室内 ※参加無料（ただし当日観覧券が必要）

問合せ先 かわら美術館 ☎52-3366